

## 「マケドニア人の幻」

2024年03月27日

さて、彼らはアジア州で御言葉を語ることを聖霊から禁じられたので、フリギア・ガラテヤ地方を通って行った。ミシア地方の近くまで行き、ビティニア州に入ろうとしたが、イエスの霊がそれを許さなかった。それで、ミシア地方を通ってトロアスに下った。その夜、パウロは幻を見た。一人のマケドニア人が立って、「マケドニア州に渡って来て、私たちに助けてください」とパウロに懇願するのであった。パウロがこの幻を見たとき、私たちはすぐにマケドニアへ向けて出発することにした。マケドニア人に福音を告げ知らせるために、神が私たちに招いておられるのだと確信したからである。（使徒16:6～10）

パウロとシラス、そして、パウロから求められ同行することになった若者・テモテの三人は、ピシディア州のアンティオキアから西に向かった。「彼らはアジア州で御言葉を語ることを聖霊から禁じられた」と書かれている。アジア州の首都はエフェソで、最も大きな都市であった。パウロは大きな町で宣教活動を展開している。パウロはエフェソで伝道したいと思ったのではないか。しかし、この時は聖霊に禁じられ、南下するのを断念した。フリギア・ガラテヤ地方を通って、ミシア地方の近くまで来た時、ビティニア州に入ろうとした。ビティニア州は、現在のトルコの北、黒海に面する地方である。この地方で宣教しようとしたが、主イエスの霊がそれを許さなかった。アジア州、ビティニア州での宣教を霊によって禁止されたのは、パウロは病弱で、持病を抱えていたので、これらの地方の気候はパウロの健康を損なうという理由ではないかという説がある。

三人はミシア地方を通ってトロアスに下った。トロアスはトルコの最西岸、エーゲ海に面する町である。トロアスに着いた夜、パウロは、一人のマケドニア人が立って、「マケドニア州に渡って来て、私たちに助けてください」と懇願する幻を見た。マケドニア州は現在のギリシアの北の地方で、この地に来て、キリストの福音を宣教して欲しいという幻である。教会はパレスチナ地方を中心に成長し、パウロたちの宣教により小アジア（トルコ）地方まで広がっていた。今、更にヨーロッパまで、宣教を広めたいとの願望が生じたということである。

ヨーロッパ宣教を懇願したマケドニア人とは、パウロが「愛する医者ルカ（コロサイ4:14）」、「私の協力者たち、マルコ、アリストタリコ、デマス、ルカからもよろしくのことです（フィレモン24）」と記しているルカではないかという説がある。ルカがギリシア人であり、マケドニア人への伝道を願ったと推測されるからである。ここから伝道者の一行「彼ら」が「私たち」に書き換わっている。パウロ、シラス、テモテの一行にルカが加わって「私たち」と一人称、複数で書かれたとも取れる。しかし、懇願したのはルカであるとの確証はなく、ルカが同行した形跡も見られない。「私たちは」とは、ヨーロッパ宣教への転換を強調した言葉であろう。パウロは、マケドニア人の懇願を神からの促しと捉え、マケドニア行きを決断する。この決断により、キリスト教がギリシアの社会、文化に向き合うことになった。アジア州、ビティニア州での宣教を霊によって禁止されたのは、ヨーロッパ宣教のためであったと言える。福音は世界へと広がっていった。教会員のツアーでパウロに学ぶトルコ・ギリシアの旅をした時、私は宣教の転換点になったトロアス行きを依頼した。田舎道をバスに揺られ、トロアスまで行き、荒涼とした海を見た。ここから、パウロのヨーロッパ宣教が始まったのかと、感慨無量であった。